

令和8年度学校経営方針【概要版】

国や都の動向

府中市教育委員会教育目標

1 学校の教育目標

児童一人一人のもてる力を伸ばし、個性豊かに世界に活躍する“府中っ子”を育てるために、次の目標の達成に努める。

- 明るく健康な子ども ○ 仲よく助けあう子ども ○ すすんで学習する子ども

二中学区の目指す児童像

児童の実態

教職員の实態

保護者・地域の実態

2 目指す学校像

自分で考え行動する機会を重視し、一人一人を大切にしている学校

- ・人とのかかわりを大切にして、積極的に学ぶ児童
- ・相互に協力し合い、キャリアアップする教員
- ・保護者・地域に発信し、協力し合う学校

3 中期的目標と今年度の重点

目標 1

児童の心に寄り添った指導の充実

- いじめの未然防止、早期発見、早期解決、解消後の見守り。軽微ないじめを見逃さない教師の意識
- 不登校傾向の児童への早期対応、不登校児童の社会性の形成
- 子どもの「困り感」に寄り添う特別支援教育
- 「あいさつ運動」などによる学校風土の醸成と特別活動を中心とした自治のできる児童の育成
- 体験活動やゲストティーチャー、地域の自然等を通じた感性の醸成

目標 2

学ぶ意欲の向上と個に応じた学びの充実

- 子ども自身が学び方を身に付け、自ら学ぶ授業の日常化
- ドリル学習などによる、基礎的な学力の確実な定着
- デジタル教材の活用や子ども自らが学ぶ授業への転換に積極的に取り組む教員集団

目標 3

地域・保護者との信頼関係の構築

- 保護者・地域との協働、スクールコミュニティ協議会との連携による教育活動の充実
- 地域の保育園、幼稚園、小学校、中学校との連携し、地域で子どもを育成

目標 4

働き方改革の推進・全ての教育活動の基となる、教師力の向上

- PDCAを待たない、ウーダグループの発想によるスピード感のある校務改善
- 教員による地域行事への協力と、それによる地域人材や教材の効率的・効果的な活用
- ライフスタイルに合った働き方とキャリアアップ（指導力のアップ、キャリアのステップアップ）

保護者の皆さんと一緒にめざす学校

目標① 「ご相談ください」学校生活上の不安や悩みへの速やかな対応

- ・いじめの未然防止、早期発見、早期解決、解消後の見守りに組織的に取り組みます。
 - ・登校渋りや長期欠席、教室に入れないお子さんには、別室で過ごすことのできるサポートルームや、放課後等に登校するオープンデイ、スクールカウンセラーや教員によるカウンセリング、保護者の方向けの茶話会などのフォロー体制を充実させます。
 - ・月1回の心の健康観察以外でも、いつでも子どもたちの相談に乗ります。
- 【お願い】自分も他者も大切にしている指導を行っています。子どもの養育の第一の責任は保護者にあります。いじめの加害者とならないよう、ご家庭でもお子さんにお話してください。

目標② 「みんなで育てていきましょう」スクコミやPTA、青少対との連携

- ・スクール・コミュニティ協議会やPTAを中心とした保護者、青少対との連携を強めていきます。
 - ・子どもたちの放課後の居場所であるけやきッズや学童クラブ、紅葉丘文化センターと連携し、子どもたちの健全な育成に向けた情報共有をしていきます。
- 【お願い】学校でもSNSや生成AIについての指導は行いますので、ご家庭でもルールの確認をお願いします。スマートフォンなどの個人の端末によるSNSトラブルの解決は、家庭間での解決をお願いします。

目標③ 「自分で考えることを大切に」自分で学ぶ学習、デジタルの活用の充実

- ・子どもたちが自分で学ぶ力を付けることを重視した授業づくりに取り組んでいきます。
 - ・先生の話や友達の考えを聞けるよう、「人の話を聞く」ことにも力を入れて指導していきます。
 - ・令和8年度から児童用タブレットが新しいものになります。それに伴い、2年生以上の算数ドリルや4年生以上のワークテストをデジタル化します。
- 【お願い】デジタル化が進む一方で、デジタル漬けも心配されます。家庭でもゲームやスマホ、テレビ以外の読書や会話などの時間を計画的にとるよう、お願いします。